

笑顔輝く せたっこ通信

令和8年1月
大津市立瀬田幼稚園

毎年、「1月はいく」「2月はにげる」「3月はさる」とはよく言ったものだ。と実感しています。もう、1月が終わっていきます。

大寒の日を境に寒さが厳しくなり、雪がチラチラする日も増えてきました。1年で一番寒い時期になりますが、子どもたちは、多くの人と関わりながら豊かな経験を重ねています。

世界にひとつのペン立て

5歳児は親子で修了記念作品として唐橋焼のペン立てを作成しました。粘土でものを作るのは初めてではないでしょうか。「陶器は1000年使えます。」という話を聞いてびっくりしていました。1年生になることを楽しみにしながら、親子で考えた図案を分担したり子どもに任せたりしながら作っていく姿が微笑ましかったです。また、瀬田幼稚園出身の保護者の方がいらっしゃって「幼稚園の時に作ったペン立てがあります。」と教えてくださいました。

世界にひとつしかない素敵なペン立てができあがるのは3月です。



人権教室

人権という言葉は子どもにとっては難しい言葉ですが、「自分も大事」「友達も大事」「困ったことがあったら大人に話そうね」ということを、人形劇をとおして教えていただきました。

子どもたちは、人形劇に出てくるカラスやスズメの気持ちになって応援したり、「あかんで」と声を掛けたりしていました。相手の気持ちに気付いたり自分のこととして考えたりしている子どもたちの成長を感じることができました。

また、人形劇をしてくださった人権擁護委員の皆さんからは「瀬田幼稚園の子どもたちはしっかりと話がきけますね。」と仰ってくださいました。



♪ 風～風～あ～がれ～♪

それぞれの年齢に合った風を考え、子どもたちが風をつくりました。

3 歳児はビニール袋を使った袋風。4 歳児は画用紙を使った風車風。5 歳児は本格的な六角風です。身近な素材を使って作れることが、子どもたちの興味を高めています。

【3 歳児】

ひたすら走る走る走る。風があがっているとかは気にせず走ります。ところが、走らなくても風があがる場所を発見！！それはエアコンの室外機の前です。「わ～ここ強い！！」と何度も試していました。



【4 歳児】

風車の原理なので、クルクルと回るのが特徴です。友達の風の様子を見て、自分の風がどのような状態なのか分かるようになりました。4 歳児も走る走る。



【5 歳児】

園庭では狭いと分かっているので、小学校の運動場へ行きました。広い運動場を走る走る。走っているうちに風があがっていくのを糸から感じるようになりました。5 年生や校長先生、教頭先生も一緒に手伝ってくれました。

翌日は小学校より広い中学校の運動場へ行きました。「うわ～全部走っていいの？」と走る気満々！ここでも中学生の生徒さんや校長先生、教頭先生が関わってくださいました。着いて直ぐは、運動場の端までひたすら走っていたのですが、この日は適度な風があり、走らなくても糸を伸ばすだけで風があがっていききました。すると、徐々に風の通り道に気が付き始め、立っているだけで風があがる場所を探すようになりました。子どもたちが体験をとおして学ぶ姿です。その背景には、小学校の運動場で風あげをしたこと、個々が多くの人に関わってもらったことで安心して楽しめたこともあると思います。中学生の生徒さんは、絡まった糸をほどいたり、木に引っ掛かった風を一生懸命取ってくれたり、とても頼もしい存在でした。初めて出会う中学生とも親しみをもって関わることができ、改めて人との関わりの中で、子どもたちが育っていくことを実感しました。



この通信は大津市のホームページからも見て頂くことができます。ホームページには瀬田小学校の児童に向けた通信も載せていますので、是非見てくださいね。

